

専門分野

科目名	災害看護	開講時期	単位数	時間数
		3 年次後期	1	15
担当教員	非常勤講師			
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療における看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップの発揮と看護をマネジメントできる基礎的能力を理解する。 2. チームの一員における看護師の多職種との連携・協働を理解する。 3. 災害医療・災害看護に関する基礎的知識を習得できる。 4. 諸外国における保健・医療・福祉の課題について基礎的知識を理解する。 			
DP との関連性	<ol style="list-style-type: none"> 3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる。 4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。 6. 医療チームの一員として多職種との連携・協働ができる。 7. 変化する時代や地域社会のニーズに対応できるよう、多様な人々と連携・協働ができる。 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。 			
回数	学習内容		授業方法	
1	災害医療の基礎知識		講義	
2	トリアージの概念		講義	
3	トリアージ机上シュミレーション		講義	
4	トリアージ机上シュミレーション		講義	
5	災害時の看護活動と被災者及び援助者の心理と心のケア		講義	
6	精神障害者に対する災害看護 応急処置		講義	
7	国際災害支援		講義	
8	筆記試験(45分)		講義	
評価方法	筆記試験 100 点			
教科書	災害看護 学研			
実務経験	本科目は看護師として実務経験のある教員による授業である			

専門分野

科目名	医療安全 I	開講時期	単位数	時間数
		2 年次後期	1	15
担当教員	非常勤講師			
科目目標	<p>1. 正確なコミュニケーションは医療の安全性を高める要因であることを理解することができる。</p> <p>2. 人間は誰でも間違えるという人間の特性を踏まえ、チームでの情報共有と解決方法(RCA・セーフティII)を理解することができる。</p> <p>3. チーム医療の一員として、「気づきを発信する」重要性を理解できる。</p>			
DP との 関連性	<p>3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる。</p> <p>4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。</p> <p>6. 医療チームの一員として多職種との連携・協働ができる。</p> <p>7. 変化する時代や地域社会のニーズに対応できるよう、多様な人々と連携・協働ができる。</p> <p>8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。</p>			
回数	学習内容		授業方法	
1	医療安全とは 医療事故防止のためのチームコミュニケーション		講義 グループワーク	
2	チームコミュニケーション Team STEPPS とは		講義 グループワーク	
3	Team STEPPS		講義 グループワーク	
4	チームでの情報共有と解決方法・RCA とは、RCA の実際		講義 グループワーク	
5	チームでの情報共有と解決方法・RCA とは、RCA の実際		グループワーク	
6	チームでの情報共有と解決方法・RCA とは、RCA の実際		グループワーク	
7	チームでの情報共有と解決方法・セーフティII とは、セーフティII の実際 「気づきを発信する」と医療者の責務について		講義	
8	まとめ 課題レポート			
評価方法	レポート 100 点			
教科書				
実務経験	本科目は看護師として実務経験のある教員による授業である			

専門分野

科目名	医療安全Ⅱ	開講時期	単位数	時間数
		3年次前期	1	15
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. 療養上の生活・診療の補助に伴う、現在の医療事故の現状を理解する。 2. 診療補助技術における事故、防止のための知識・技術を習得できる。			
DPとの関連性	3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる。 4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。 6. 医療チームの一員として多職種との連携・協働ができる。 7. 変化する時代や地域社会のニーズに対応できるよう、多様な人々と連携・協働ができる。 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。			
回数	学習内容	授業方法		
1	医療安全の復習	講義		
2	療養上の世話の事故防止(食事・清潔・排泄)	講義		
3	療養上の世話の事故防止(車いす・移動・入浴)	講義		
4	診療の補助業務に伴う事故防止(薬剤・与薬)	講義		
5	診療の補助業務に伴う事故防止(薬剤・与薬)	講義		
6	診療の補助業務に伴う事故防止(ドレーン・チューブ・輸液ポンプ等)	講義		
7	情報管理の医療事故	講義		
8	筆記試験(45分)			
評価方法	筆記試験 100点			
教科書	看護実践マネジメント／医療安全 メジカルフレンド社			
実務経験	本科目は看護師として実務経験のある教員による授業である			

専門分野

科目名	看護管理とマネジメント	開講時期	単位数	時間数
		3年次後期	1	15
担当教員	非常勤講師			
科目目標	1. チーム医療における看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップの発揮と看護をマネジメントできる基礎的能力を理解し、看護管理の基礎的知識を習得できる。 2. チーム医療における看護師の多職種との連携・協働を理解する			
DPとの関連性	3. 医療従事者としての倫理観に基づき、生命と個人の尊厳を擁護できる。 4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。 6. 医療チームの一員として多職種との連携・協働ができる。 7. 変化する時代や地域社会のニーズに対応できるよう、多様な人々と連携・協働ができる。 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。			
回数	学習内容	授業方法		
1	地域における看護マネジメント 1) 地域との連携における看護師の役割 2) 暮らしに帰えるためのマネジメントシステム	講義		
2	チーム医療における多職種との連携・協働とは	シュミレーション		
3	チーム医療における多職種との連携・協働とは	シュミレーション		
4	病院が必要とする専門職業人とは マネジメントとは 看護におけるマネジメントとは	講義		
5	看護職自身のマネジメント 1) 健康管理 2) 看護師のキャリア開発・継続教育	講義		
6	医療チームにおける看護マネジメント 1) 看護師のチームワークとコミュニケーション (リーダーシップ・メンバーシップ) 2) 多職種のチームワークとコミュニケーション	講義		
7	看護マネジメントの実際 1) 薬物・物品の管理 2) 情報のマネジメント	講義		
8	マネジメントにおける指標システム ※看護必要度・医療・看護の質と指標 病院機能評価・看護業務基準・看護手順	講義		
評価方法	授業参加態度 20% レポート 80%を総合して評価する			
教科書	看護実践マネジメント／医療安全 メジカルフレンド社			
実務経験	本科目は看護師として実務経験のある教員による授業である			

専門分野

科目名	臨床看護の実践	開講時期	単位数	時間数
		3 年次後期	1	30
担当教員	専任教員			
科目目標	1. 複数の患者をアセスメントする力を身につける。 2. 複数の患者を受け持つ際の看護のポイントを学習する 3. 複数の患者を受け持つ際の優先順位を考える。 4. 各看護学、医療安全で学んだ内容を基に、患者に必要なフィジカルアセスメントと日常生活援助を行うことができる。			
DP との 関 連 性	4. 安全かつ安楽な看護を実践するために、臨床判断に必要な知識・技術・態度が身についている。 5. その人らしい生活を支えるために、対象の持てる力を活かした援助を考える力が身についている。 6. 医療チームの一員として多職種との連携・協働ができる。 7. 変化する時代や地域社会のニーズに対応できるよう、多様な人々と連携・協働ができる。 8. 看護に対する探究心をもち、自ら学ぶ姿勢を持ち続けることができる。			
回数	学習内容	授業方法		
1	看護の実践と統合実習について	講義		
2	業務遂行のためのマネジメント・多重課題に伴う危険要因と事故防止	講義		
3	複数患者への対応	講義		
4	複数患者への対応 患者の病態・フィジカルアセスメント	グループワーク		
5	複数患者への対応 患者の病態・フィジカルアセスメント	グループワーク		
6	複数患者への対応 患者の看護	グループワーク		
7	複数患者への対応 患者の看護	グループワーク		
8	複数患者への対応 優先順位	講義		
9	複数患者への対応 優先順位の判断	グループワーク		
10	複数患者への対応 優先順位の実際	グループワーク		
11	療養上の世話の援助の実際 (フィジカルアセスメント・点滴の観察・寝衣交換)	シュミレーション		
12	療養上の世話の援助の実際 (フィジカルアセスメント・点滴の観察・寝衣交換)	シュミレーション		
13	療養上の世話の援助の振り返り	講義		
14	療養上の世話の援助の振り返り	講義		
15	療養上の世話の援助	実技試験		
評価方法	授業参加態度 20% 実技試験 80%を総合して評価する			
教科書	看護実践マネジメント／医療安全 メヂカルフレンド社			
実務経験	本科目は看護師として実務経験のある教員による授業である			